

そのお薬 ジェネリックにしましょう!

医療機関で処方される薬には、「先発医薬品」と特許が切れた後に製造される「ジェネリック医薬品」があります。同等の効果で安価なジェネリック医薬品を使用することで、医療の質を落とさずに医療費を節約できます。

ジェネリック医薬品

特許期間切れ

開発から20~25年たち、特許期間が切れている成分の薬です。

特許



先発医薬品

特許期間中

新しく研究開発された薬のため、特許によって保護されています。

安い

ばくだいたい莫大な研究開発費がかからないため、先発医薬品よりも安価です。

価格



高い

新しく研究開発された薬で莫大な研究開発費がかかるため、高価です。

先発医薬品と同等

先発医薬品と同等の効果・安全性が検査で確かめられています。

効果・安全性



証明済み

臨床試験により、効果・安全性が確かな薬だけが認可されます。



ジェネリック医薬品は、効果に影響のない範囲で薬の形状や味、パッケージなどが改良されている場合があります。

ジェネリック医薬品がある薬で

先発医薬品を希望すると特別料金がかかります



ジェネリック医薬品がある薬で、薬の有効性とは関係のない理由で先発医薬品を希望する場合には、医療費の自己負担にプラスして特別料金がかかる仕組みになっています。特別料金は、「先発医薬品とジェネリック医薬品の価格差の4分の1相当の額」で、別途消費税がかかります。なお、特別料金は市区町村等が行う医療費助成の対象外です。

※医療上の必要性がある場合などでは、特別料金はかかりません。

※特別料金は、令和8年6月から「価格差の2分の1相当の額」に引き上げられる予定です。

バイオシミラーをご存じですか?

バイオ医薬品は、細胞や微生物などの生物を用いて製造される医薬品のことです。バイオ医薬品はたんぱく質のため、口から服用すると消化されて分解されてしまいます。このため、多くの場合は注射や点滴などで使われます。

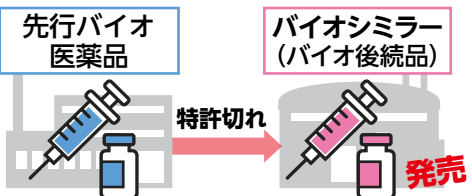
このバイオ医薬品のジェネリック医薬品が「バイオシミラー」です。新しい有効成分として開発された先行バイオ医薬品の特許期間が切れた後に、バイオシミラーは製造・販売されます。先行バイオ医薬品は高価ですが、それに比べてバイオシミラーは安価で、同等の有効性・安全性であることが国によって認められています。

バイオシミラーを選択することは、医療費の自己負担を軽減できるだけでなく、医療費の節約で健康保険制度を守ることに繋がります。ぜひバイオシミラーを知っておきましょう。

バイオ医薬品の例

インスリン、血液凝固因子、成長ホルモン、卵巣刺激ホルモン、ワクチン（肝炎、HPV、新型コロナウイルス） など

バイオシミラー販売までの流れ



バイオシミラーの特徴

●同等の効果・安全性

臨床試験も含めてさまざまな試験を行い、有効性・安全性が同等の品質だと国に認められています。

●先行品より安価

バイオシミラーは先行バイオ医薬品の7割程度の価格に設定されているため、安価に使用できます。